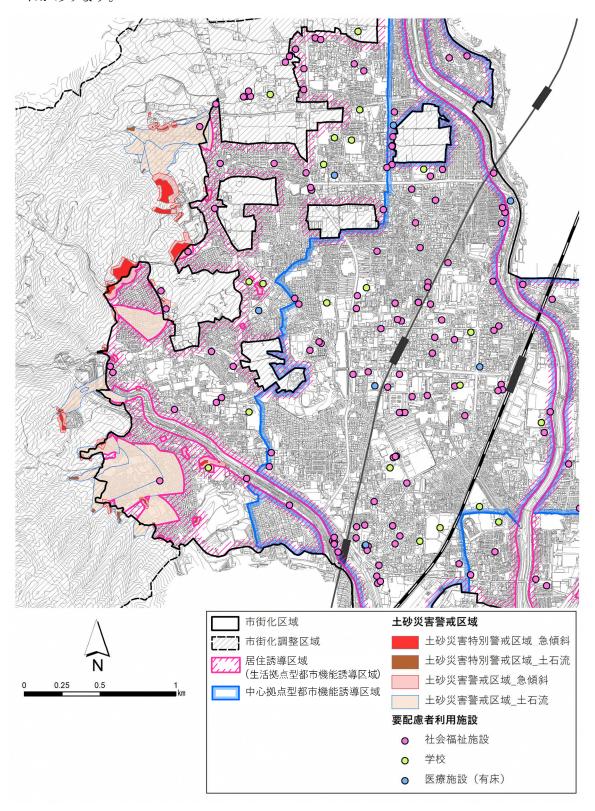
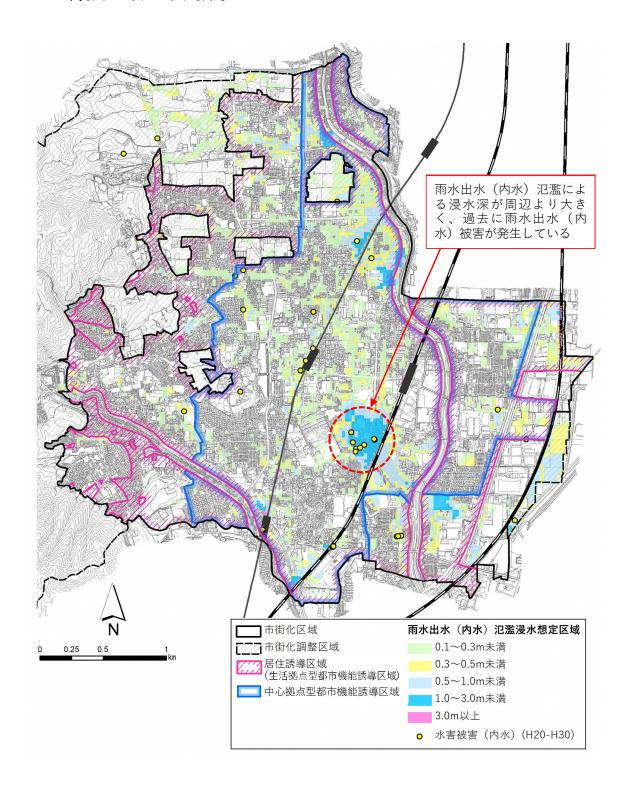
# 土砂災害特別警戒区域・警戒区域 × 要配慮者利用施設分布

・土砂災害警戒区域内に要配慮者利用施設が7施設含まれており、施設利用者に被害のおそれがあります。



## 雨水出水(内水)氾濫浸水想定区域× 過去の雨水出水(内水)被害箇所

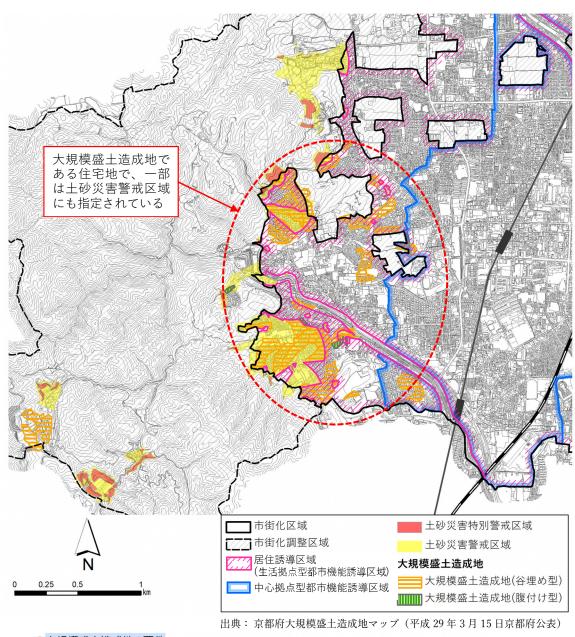
- ・雨水出水(内水)氾濫では浸水深 0.5m未満の区域がほとんどですが、市域全体に広がっています。
- ・JR 東海道本線横断部周辺では、浸水深 1.0m以上で、過去に雨水出水(内水)による浸水被 害も発生しており、大雨時に雨水出水(内水)氾濫と外水氾濫が重なった場合、被害リス クが高まるおそれがあります。



## ④ 大規模盛土造成地のリスク

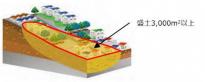
## 大規模盛土造成地 × 土砂災害特別警戒区域・警戒区域

- ・大規模盛土造成地は、37 箇所 (うち居住誘導区域内 26 箇所) (平成 29 年 3 月 15 日京都府 公表) あります。市街地西部の住宅地に分布しており、土砂災害警戒区域等と重複してい る箇所もあります。
- ・今後、大規模盛土造成地マップの周知を図るとともに、国・府と連携を図り、大規模盛土 造成地の安全性の確認が必要です。



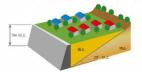
## ○大規模盛土造成地の要件

① 盛土の面積が3,000m以上



谷埋め型大規模盛土造成地 (イメージ)

#### ② 盛土をする前の地盤面の水平面に対する角度が 20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上



②腹付け型大規模盛土造成地(イメージ)

出典: 立地適正化計画作成の手引き(令和3年10月版)国土交通省